

鵜方塩害試験場

総合技術研究所 電気第二研究室

鵜方塩害試験場は、60年10月、旧地点から150m南へ移転し、試験設備の整備を行った。この試験場は、配電機材・用品および新材料（メッキ、塗装を含む）の長期耐食性を検証するために、37年に三重県志摩郡阿児町に設置された。主な供試品は、開閉器、電線、碍子、ヒューズ、支線および各種塗装・メッキ材料等である。

これらの供試品は、年2回関係メーカーの協力を得て、機器類に付着した塩分による劣化度合を点検調査しており、機材・新材料開発の基礎的なデータや性能向上に生かされている。

今回の移転に伴い、設備および供試品の充実・

整備が図られ、信頼性の高い配電設備の開発・改良が期待される。



工業所有権紹介

線路検相装置

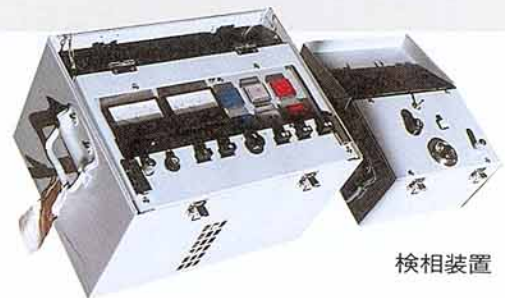
特許第1191633号

51年6月28日出願 58年5月12日出願公告

発明部署 総合技術研究所 電気第一研究室

共同出願人 (株)愛知電機工作所

共架多回線送電線の検相作業は、運転回線からの誘導電圧が高く、検相が不確実、系統切替の制約を受けるなどの問題があった。



検相装置

本装置は、停止中の線路の始端に直流を印加し、線路の終端を1相ごとに接地して、直流電流を検出することにより、線路の検相を安全・確実かつ短時間に行うことができる。また、簡単に誘導電圧および絶縁抵抗を測定できる機能を有している。

テレビ受信障害の原因判定スケール

実用新案第1539435号

53年3月3日出願 58年4月14日出願公告

考案部署 名古屋支店 工務部

当社単独出願

テレビ電波が高層建造物等の反射によって発生するゴースト障害の原因物を判定するスケールを考案した。

これは、テレビ画面の実像とゴースト像の間隔を電波の通路差に対応して描いた楕円軌跡のスケールと電波方向を指示する円形分度器を組み合わ

せたもので、地図上に当てがいで、測定したデータとともに、簡単に原因物を判定することができる。

